

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 金曜・1校時	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語Ⅱ German II		
対象年次 1年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) M13~15	科目分類	外国語科目(ドイツ語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室 担当教員:目 正勝 /Eメールアドレス:m79sakka@aol.com /研究室:(非常勤講師)			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>授業のねらい: ドイツ語入門。発音、初級文法、文の構造把握などを、総合的に学習する。平易なドイツ語文による練習問題を通じて、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。テキストのドイツ語文やその他の記事を通じて、ドイツの文化や地理、また現代ドイツの諸事情について理解を深める。</p> <p>授業方法: 前期に引き続いて、テキストに従って進む。前置詞や分離動詞、動詞の過去表現を学習した後、現在完了、受動態、そして関係代名詞などまで進む。 教室では、文法の説明のあと、まとめの練習問題、テキストの本文の和訳に取り組む。前もって単語の意味を調べておく必要がある。 テキストの音読やテープによるリスニングの練習も行う。</p> <p>授業到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。</p>			
授業内容			
<p>全12課のうち、前期に引き続いて、第7課から第12課まで進む。</p> <p>第1回 第7課、前置詞、格支配について、2格支配、3格支配、便利な表現 第2回 第7課の続き、4格支配、3・4格支配、前置詞と定冠詞の融合 第3回 第7課の続き、数詞、読章(会話)の和訳、練習問題 第4回 第8課、話法の助動詞、助動詞の現在人称変化、枠構造 第5回 第8課の続き、助動詞の主な意味、不定代名詞、数詞 第6回 第8課の続き、読章(会話)の和訳、練習問題 第7回 第9課、分離動詞、枠構造 第8回 第9課の続き、時刻表現、数詞、読章(会話)の和訳、練習問題、 第9回 第10課、形容詞の用法、形容詞の格変化 第10回 第10課の続き、再帰代名詞、再帰動詞、読章(会話)の和訳、練習問題 第11回 第11課、動詞の三基本形、過去人称変化 第12回 第11課の続き、従属接続詞、読章(手紙文)の和訳、練習問題 第13回 第12課、不規則動詞の三基本形、現在完了、分離動詞の完了、(受動態) 第14回 第12課の続き、読章(会話)の和訳、練習問題、(関係代名詞、接続法) 第15回 全授業のまとめ、定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	<p>教科書: 「ドイツ語インフォメーション(小冊子付き改訂版)」 秋田静男、江口陽子 他著 朝日出版社 独和辞典: 『新アポロン独和辞典』(同学社) 他</p>		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			